

●漁況情報

- 2月19日、藤沢市漁協所属の漁業者が、今年初めての湘南はまぐり漁を行いました。「湘南はまぐり」は、辻堂海岸から鵠沼海岸地先で漁獲されるチョウセンハマグリのことです。かながわブランドやブランドフィッシュにも選定されています。初日は240kgとますますの漁模様で、3月3日の桃の節句にあわせ集中した漁を行っていくそうです。



漁獲された湘南はまぐり



はまぐり漁の様子

●浜の話題

- 2月16日、テレビ神奈川の情報番組『猫のひたいほどワイド』で金田湾の養殖ワカメが放映されました。番組では、みうら漁協南下浦支所（金田湾地区）所属の高木指導漁業士（高木丸）によるワカメ養殖の様子や、新鮮な生ワカメ等が購入できる金田湾朝市（毎週日曜日 5:30～売り切れ次第終了）のことも紹介されました。
- 2月18日、神奈川県漁業士会は、小田原市から委託された後継者育成事業の一環として、県立海洋科学高等学校の生徒を対象とした体験漁業を実施しました。当日は、同校2年生の3名が小田原市江之浦地区の刺し網漁船に乗船して漁の体験をしました。また、同日に実施されたアワビ・サザエ種苗の放流も体験し、将来は漁業に従事したいと目を輝かせていました。



漁業体験の様子



- 2月18日、小田原市漁協はアワビ・サザエ種苗の放流を行いました。種苗は（公財）相模湾水産振

興事業団と小田原市の補助を加えて、アワビ 47,200 個（漁協分 27,300 個、事業団分 8,000 個、市補助分 11,900 個）、サザエ 9,000 個（事業団分 7,000 個、市補助分 2,000 個）を購入し、各地先に放流しました。当日、アワビ種苗は漁業者やダイバーらによる潜水作業により、海底の岩の隙間などに丁寧に放流されました。

- 2月24日、横須賀市東部漁協所属の漁業者が養殖しているマガキの成長を担当普及指導員が確認しました。3ヶ所（安浦、走水、浦賀）のマガキは、いずれも身入りが良好でした。同漁協横須賀支所では直売所で養殖マガキを販売しており、食味が良いと評判だそうです。栄養豊富な横須賀の海で育った養殖マガキを多くの人に味わっていただきたいです。



大きく成長し、身のつまった横須賀育ちのマガキ

- 2月25日、平塚市漁協は今年初めての海底耕耘を実施しました。水深2～4mの砂底域でネットのついた海底耕耘機を曳くことにより、海底を耕して底質を改善するだけでなく、ゴミを回収するとともに混獲される生物も確認しています。今回は、昨年と比べチョウセンハマグリが多く見られました。同漁協では、この作業をあと5回実施する予定です。



海底耕耘機



混獲されたチョウセンハマグリ等

- 鎌倉漁協の木村組合長は、鎌倉ハマグリ部会の活動内容について神奈川新聞の取材を受けました。木村組合長は同部会長も兼務しており、貝桁網や鋤簾による分布状況調査（特別採捕許可）や、1個の親貝漁獲に対して4個の稚貝を放流する管理指針の策定、新たな名産品化を目指すことなどを説明しました。取材内容は3月7日の神奈川新聞朝刊に掲載されたほか、同新聞社のサイト「カナロコ」でも閲覧することができます。

・カナロコ紹介記事 URL：<https://www.kanaloco.jp/news/social/article-422260.html>



貝桁網調査の様子



調査で漁獲された大きなチョウセンハマグリ